

# 平成 30 年度 第 1 回こうべ食育推進懇話会 議事要旨

日 時：平成 30 年 7 月 9 日（月）  
午後 1 時 30 分～3 時 00 分  
場 所：勤労会館 405 講習室

## 1 開 会

## 2 資 料

- 資料 1 こうべ食育推進懇話会委員及び事務局名簿  
資料 2 こうべ食育推進懇話会開催要綱  
資料 3 神戸市における平成 30 年度の主な食育推進事業  
資料 4 平成 30 年度版 ライフステージ別 神戸市における主な食育の取組  
資料 5 神戸市における平成 30 年度の主な食育推進事業（ダイジェスト版）  
資料 6 神戸市食育推進計画（第 3 次）における数値目標の進捗状況など  
資料 7 ～健康創造都市 KOBE 関連イベント～第 15 回こうべ食育フェア開催報告  
資料 8 ～健康創造都市 KOBE 関連イベント～第 15 回こうべ食育フェア当日チラシ

- 参考資料 「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第 2 次）」概要版 [保健福祉局保健課]  
きゅうしょくのひみつをみつけた [教育委員会事務局]  
保育所・園における「食の提供・質向上のためのチェックリスト」 [こども家庭局]  
保育所・園における「食の提供・質向上のためのチェックリスト」（スライド） [こども家庭局]

## 3 議 題

### （1）神戸市における平成 30 年度の主な食育推進事業

- ・事務局から「神戸市食育推進計画（第 3 次）」施策の柱（Ⅰ～Ⅵの施策）ごとに、資料 5（ダイジェスト版）に基づいて取組み事例を説明

#### ○ 質問・意見等

- ①保育所・園における食の提供・質向上のためのチェックリスト（スライド）資料のスライド 2 は、年度毎平均値で評価されている。29 年度のみ項目毎に 5 段階の分布が示されているが、このうち「できていない」「あまりできていない」層は経年的にみて減っている等の分析はされているか。（委員）

⇒明確には分析できていないが、実感としてあまり変わっていない様子である。（事務局）

- ①-2 改善していない背景要因の調査はしているか。（委員）

⇒今のところはしていない。（事務局）

- ②食品ロス削減について、フードドライブは啓発事業であるが、実際に家庭や飲食店から排出される食品ゴミの量は減っているか。（委員）

⇒統計自体が存在しない。本市では、以前から家庭ゴミ及び事業者ゴミを開封し食品ゴミを分別するサンプリング調査を行っているが、昨年度までの状況からするとそれほど大きな傾向はない。（事

務局)

②-2 市民への改革にもつながるので、そういう統計も見えていただければと思う。(委員)

③フードドライブについて、小売事業者との連携体制はどのような状況か(具体的な店舗数など)。

(委員)

⇒昨年度、モデル実施としてコープこうべ3店舗、ダイエー2店舗にて期間を限定して実施した。

今年1月からは、ダイエーでは東灘区と灘区の5店舗にて毎月1週間実施し、コープこうべではできる限り多くの店舗にて年2回実施予定である。6月からはイオンの市内7店舗にて毎月1週間実施している。今後、地域バランスを考慮して、全市域内で市民が普段利用する店でも実施できるように、協力いただける事業者を考えている。(事務局)

③-2 フードドライブで回収された食品はどのような方へ配布されるのか。(委員)

⇒NPO 法人フードバンク関西へ提供している。フードバンク関西を通じて、食支援を必要とする方(特に、母子世帯等で生活に困っている方中心。一部はこども食堂)へ提供している。(事務局)

④中学校給食の市全体の利用率は4割と聞いている。説明のあった小学1年生へ配布するパンフレットを見て、中学生も先輩からの声が入る前に、学校給食はおいしいと親子で話し合う機会があればと感じた。すごく努力していただいているので、中学校給食も多くの生徒が喜んで食べ、利用率が増えるよう祈っている。また、このようなパンフレットは小学1年生だけでなく、全学年へ配布できないか。(委員)

⇒パンフレットの基本的な内容は、献立表の裏面に毎月異なる食育関連のテーマとして発信している。このパンフレットは今のところ、小学1年生だけを対象に配布しているが、ただ今のご意見をいただき配布対象の拡大について検討していきたい。(事務局)

⑤食品の栄養成分表示を見ている人の割合等の統計はとれているか。また、本年度の協力店舗はどのような状況か。(委員)

⇒アンケート等は実施していない。また、「健康こうべ21サポーター店」(飲食店、惣菜店などスーパーやコンビニも含む)にて、栄養成分表示の促進事業を行っており、登録店舗数は平成29年度末時点で1,932店舗である。ただし、栄養成分表示のほかに、野菜たっぷりメニューの提供や減塩メニューの提供など複数の項目のうち一つ以上満たしている店舗が登録できるため、栄養成分表示をしている店舗数ではない。(事務局)

⑤-2 最近話題の分煙等も含めて飲食店が健康に配慮するような傾向があると考えてよいか。(委員)

⇒「健康こうべ21サポーター店」の項目に禁煙も含まれている。(事務局)

⑤-3 神戸市は進んだ市として、健康に配慮した店に関する施策がいろいろあるのではと思う。栄養成分表示促進について担当している部署はどこか。(委員)

⇒飲食店等に対しては健康政策課、市民への啓発は保健所予防衛生課である。(事務局)

⑥こうべ食育フェアの参加団体はどのくらい増えたか。どのような方法で団体募集しているか。今年度は3箇所で開催していたため、スペースも広く動きやすかった。今後も団体数を増やしていく予定か。(委員)

⇒8団体増加した。参加団体は公募にて決定している。本年度は通路を広くし、ブースの広さは変更していない。これ以上の参加団体増加は通路を狭めることになるので、スペース上厳しい。(事務局)

務局)

⑦子どもの居場所づくりについて、食事提供をしているのは15団体とのことだが、食育面として栄養士のフォロー等はしているか。(委員)

⇒補助金の都合上、栄養士によるサポートまでは至っていない。なお、各区の社会福祉協議会で参加してほしい子どもへアプローチするなどコーディネートをしている。(事務局)

⑦-2 家庭での食育が行き届かない環境の子どもが来ることもあるので、このような場で子どもたちへ食育を推進できるよう、栄養士ボランティア等地域サークルとマッチングするとより充実するのではないかと思う。(委員)

⇒子どもの居場所づくりと目的は異なるが、学習支援事業での食育ミニ講座を年1回開催している。調理実習を行い、自立支援につなげる取り組みをしている。一昨年までは中学生対象だったが、昨年からは小学生も対象に実施している。(事務局)

⑧栄養教諭のいない学校へは栄養教諭の派遣を行っているが、栄養教諭の有無で年間を通して食育の環境は異なると感じる。(委員)

## (2) 神戸市食育推進計画(第3次)における数値目標の進捗状況

・事務局から、資料6に基づいて説明

### ○ 質問・意見等

①国民健康・栄養調査の調査数が少ないので偏っている可能性がある。市独自で同様の調査を実施できないか。また、平均値だけ見るのではなく、全体的な分析をしたほうが実態を把握できると思う。サンプリング調査でなく、介護保険などと連携して全員の高齢者を把握するような調査を行い、背景要因を分析して福祉等サービス提供につなげるなどできないか。(委員)

⇒国民健康・栄養調査は単年では数が少ないので、本市の5年間分のデータで分析した。他自治体で独自で調査しているところもあり、本市でも実施したいところではあるが、予算上、市独自での調査は難しいため、国からデータをいただき分析した。また、市民の健康とくらしの調査(8月実施予定)の高齢者版の調査を介護保険課で実施しているので、連携していきたい。(事務局)

## (3) 「～健康創造都市 KOBE 関連イベント～第15回こうべ食育フェア」開催報告

・事務局から、資料7、8に基づいて説明

## 4. 閉会